

## 1996年5月の大気大循環と世界の天候

### 大気大循環

500 hPa 高度では太平洋の中緯度帯、北米大陸北部、北極から大西洋東部の負偏差と、アラスカと東シベリアの正偏差が顕著であった。これらの正偏差域ではブロッキング高気圧が発生した。200 hPa での偏西風は日本付近で平年よりも南に位置し、かなり強かった。熱帯の対流活動は大西洋西部と ITCZ、大西洋の赤道付近で活発である一方、中部・東部太平洋の赤道付近では不活発であった。季節内変動は対流活動の活発化する位相が太平洋西部から東進し、5月末にはインド洋西部に達した。

### 世界の異常天候

#### ①日本付近の低温

#### ②中国東部から朝鮮半島、西日本の少雨

モンゴルや中国北部では少雨傾向が続き、中国北部で高温、南部で低温、多雨となった。北京では月降水量 2 mm (7%) となった。モンゴルでは林野火災の延焼が伝えられた。

#### ③ヨーロッパ北部の低温

#### ④ヨーロッパからアフリカ北部の多雨

#### ⑤ヨーロッパ東部から中東の高温

#### ⑥中東北部から中央アジアの少雨

#### ⑦アフリカ南東部の少雨

4月と逆にヨーロッパ北西部で低温、南東部から中東で高温となりノルウェーのオスロで月平均気温 6.8°C (平年差 -2.5°C)、モスクワでは記録的な高温が伝えられた。トルコやエジプトでも気温が 2°C 以上高かった。ヨーロッパ中部やイベリア半島からアフリカ北部で多雨となり、ポルトガル南部のファロで月降水量 95 mm (平年比 385%) となった。アフリカ南部では少雨となった。

#### ⑧カナダ南西部とアメリカ合衆国北西部の低温

#### ⑨アメリカ合衆国北部の多雨

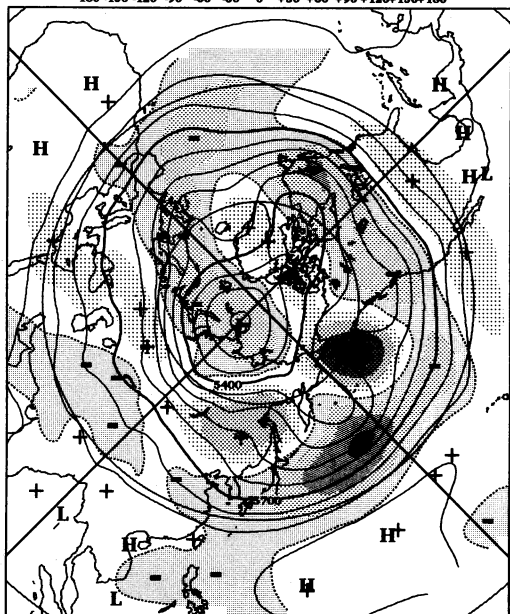
#### ⑩アメリカ合衆国南部からメキシコの高温

アラスカやアメリカ合衆国南部からメキシコで高温、カナダからアメリカ合衆国北部で低温となった。アメリカ合衆国北部を中心に、しばしば低気圧が通過し、各地で大雨やトルネードによる被害が伝えられた。

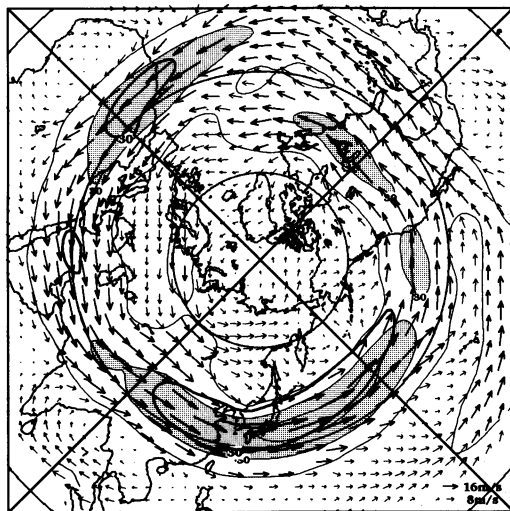
#### ⑪オーストラリア南部の少雨

(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 神野正樹)

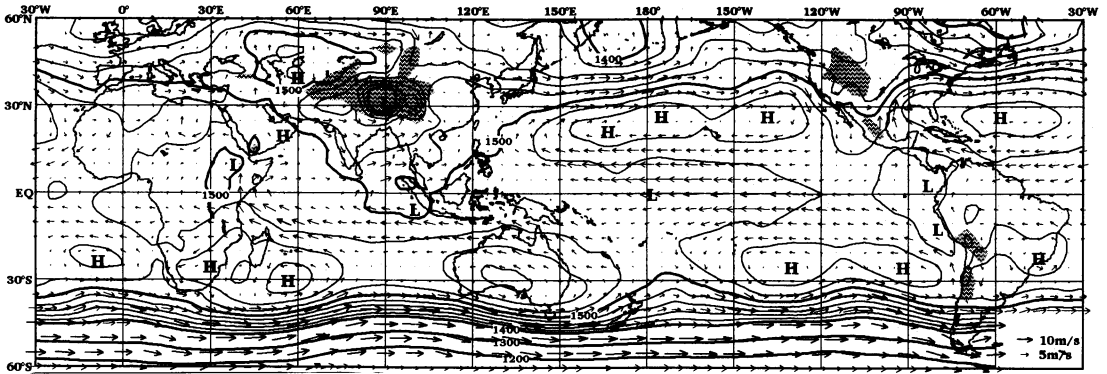
anomalies  
-180 -150 -120 -90 -60 -30 0 +30 +60 +90 +120 +150 +180 (m)



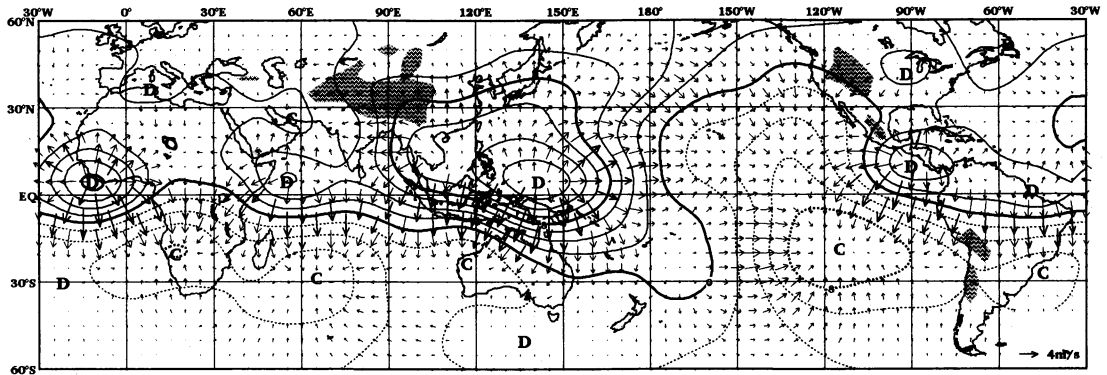
1996年5月の北半球月平均 500 hPa 高度および平年偏差等値線間隔、偏差パターン間隔は 60 m。平年値は1961~1990年のデータに基づくもの。



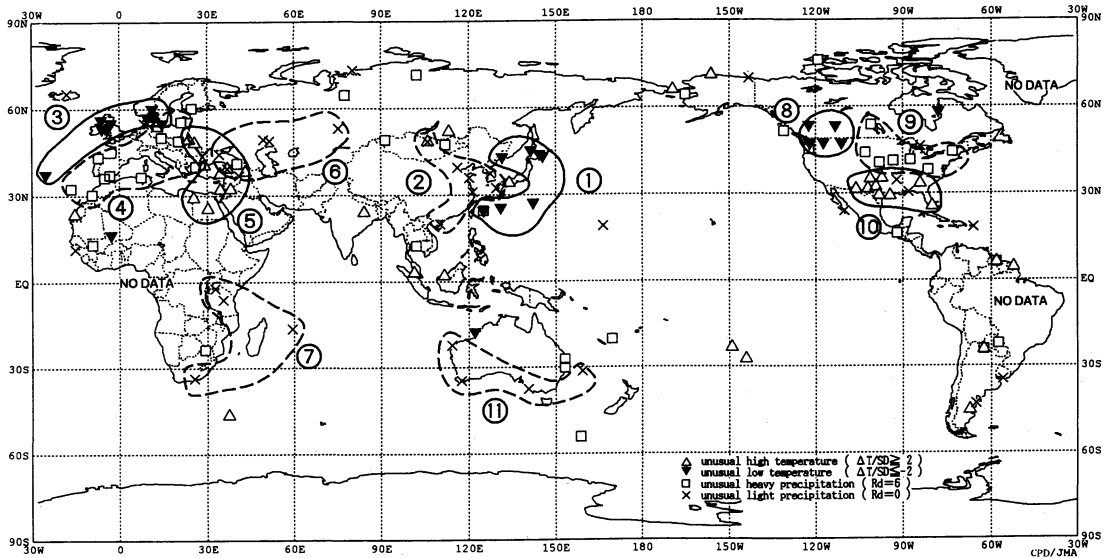
1996年5月の北半球月平均 200 hPa 風速および風ベクトル  
等値線間隔は 20 m/s。陰影部は平年で 40 m/s 以上。平年値は1979~1990年のデータに基づくもの。



1996年5月の月平均 850 hPa 高度および風ベクトル 等値線間隔は 20 m (1400 m までは 100 m)



1996年5月の月平均 200 hPa 速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は  $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



1996年5月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨  
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6または0  
 図中の番号は本文中の番号と対応している.